

I 神が人となられたイエスという方

多くの人々は神を誤解しているかも知れません。神はどんな方でしょう？

神は裁く方？ 不思議な大能者？ 宇宙を支えている単なるエネルギー？

実は、神はいつまでもご自分を秘密にしておかれませんでした。

ある時からはっきりと神はご自分を示されました。

この方は人と同じ肉体をもって約二千年前に人として来られた神、イエスです。

イエスが地上にいた時、彼は多くの試みに遭いました。

彼が苦しんだ時、彼は痛みを感じました。彼は誤解された時、悲しみを感じました。

なぜそのような方として来たのでしょうか。

彼はいかにも神と認められる姿で来ませんでした。

人が恐れて逃げることがない、弱い方として、そっと人に寄り添うかたちで来ました。

なぜでしょう——神は愛だからです。

それで、彼はわたしたちの弱さに同情できる方です。

**イエスは群衆を見て、彼らに深く同情された。なぜなら、彼らは牧者のいない羊のよう
に、苦しめられ、捨てられていたからである。** (マタイ福音書 9 : 36)

この方はわたしたちの罪を自ら負って、十字架上で死に、三日目に復活されました。

そして、命を与える霊として、今、生きておられ、また彼を信じる者の中で生きるお方です。

今ここで言っている同情は聖書の中で示されている同情であり、それはとても深いものです。

愛が遠くまで人に届くのはあわれみとしてです。

しかし、同情はそれ以上で、人に共感し、友のような、相互に行き交う、いとおしむ感覚です。

聖書で使っている同情と言う言葉は「内臓する」という意味合いがあります。

それは腹の奥まで染み入る、深い、体全体で感じるあわれみ、いとおしむ感じですが。

人々は思い違いをしています。神は人と極みまで親しく近い交わりを求めています。

I 姉妹の証し

(主はどんなときでも近く、小さな者にも共に取り組んでくださる)

S 兄弟

共感や同情は、主が地上におられたときの特徴でした。

聖書には、主が人々に共感し同情した多くの例が記録されています。

彼は病人に同情し、彼らを癒しました。

彼は飢えた人々に同情し、五千人あるいは四千人にパンを食べさせました。

盲人の叫びを聞いて、彼は盲人をいやされました。

親戚が亡くなった人々の悲しみを見て、彼は彼らの死者をよみがえらせました。

わたしたちの心が開いていれば、主の共感また同情がわたしたちに注がれているのを見るでしょう。

彼は罪人の救い主である前に、罪人の友でした。

II 同じ経験を持つ人がより同情できる友になれる

K 兄弟

誰かが真に同情を示すときに、無くてはならない三つのものがあります。まず、「経験」です。人に同情するときに、その人はまず同情を示される人と同じ経験を持つことが必要です。もしあなたが病気や弱さを経験したことがないなら、あなたは病気の人に対して真に同情することは難しいです。

わたしたちの大祭司は、わたしたちの弱さに同情することのできない方ではなく、罪のないことは別にして、すべての面でわたしたちと同じように試みられたのです。

(ヘブル人への手紙 4 : 15)

歯の痛みの経験がないなら、今、歯が痛い人に共感・同情することはできません。このことは、経験のない人は他の人たちをほんとうには理解できていないことを示しています。

なぜ主イエスは成長した大人の姿で地上に降りて来なかったのでしょうか？

なぜ彼は、人として生まれ、養われ、顧みられて徐々に成長したのでしょうか？

なぜ彼は、三十三年半の苦難の道を地上で通過されたのでしょうか？

彼があらゆる苦難に苦しんだのは、彼がわたしたちに同情できることを望んだからです。

彼は人の生活の原則を学びました。彼は誤解され迫害されました。

彼は剥ぎ取られ、ひどい取り扱いを受け、人々によって捨てられました。

彼はさげすまれ、人々に捨てられ、悲しみの人で、苦勞を知っていた。人々が顔をそむけるほど、彼はさげすまれた。わたしたちも彼を尊ばなかった。

確かに、彼はわたしたちの病を負い、わたしたちの悲しみを担われた。

しかし、わたしたちは思った。彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。

(イザヤ書 53 : 3-4)

最後に彼は十字架に釘づけられました。彼はこれらの苦しみを耐え忍びました。

それは彼が人の生活の苦さと人の弱さを経験して、人の弱さに同情できるためでした。

彼の三十三年半の人の生活と、彼の三年間の宣べ伝えは、彼の委託と働きを成し遂げるためだけではなく、わたしたちに同情するためでもあったのです。

III あふれる愛があることが基本です。神の本質は愛です

他の人に共感・同情するのには経験だけでは十分ではありません。

さらに必要なのは愛です。(↓ Ir姉妹の聖書朗読)

人が友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛を、だれも持つことはない。

(ヨハネ福音書 15 : 13)

ある人たちは何年もの間、病を患います。

しかし、彼らが世界のすべての患者たちに同情することができるとは限りません。

彼らは経験を持っています。しかし彼らは必ずしも愛を持っているわけではありません。

こういうわけで、彼らは誰に対しても同情することができるというわけではありません。

彼が人に関わりに来てくださるとき、彼は愛です。
神は人の中に愛を与え、愛を持つ人に愛を伝えさせます。
そうして人から人へ愛の神は働き、神は人の中で人の友となります。

T 姉妹の証し (主なる神は人の中で人と共にいて、ご自身の愛を示される)

IV 自分のことでせいっぱいで、人に心から寄り添えない、ということがない

経験と愛だけでも十分ではありません。

友として寄り添える人は、自分自身の事柄で占有されていないことが必要です。

多くの時、人の心はすでに何かで占有されているので、彼は他の人たちに共感し同情することができません。

彼は言うかもしれません、「わたしは自分自身の重荷でさえ負えない。どうして他の人に同情できるでしょう？」

主が地上に肉体を持ち、生活をしていた時、彼は自分自身の必要を脇に置くという特別な性質を持っていました。

その多くの事例が聖書の中にありますが、一例として、主が十字架上で死を迎えようとしていた時のことです。彼を捕らえに来た人たちに弟子たちが主を守ろうと血気を現しました。

そして、彼らのうちのある者が、大祭司の奴隷に打ちかかって、右の耳を切り落としました。

イエスは、それに応じて言われた、「そこまでにしておきなさい」。そして、イエスは彼の耳に触って、彼をいやされた。(ルカ福音書 22 : 50-51)

自分の死が間近にあるそのような時にも、イエスは耳を切り落とされた人を顧みました。

彼は他の人たちに同情する心に満ちていて、決して自分の事で占有されていませんでした。

主は迫り来る苦しみを知っていても、主は何もこれから起こらないかのように生きられました。

そのような主は、彼を受け入れた信者の心の中に住んでいて、同じ同情心を働かせます。

Ta 姉妹、U 姉妹の対談 (主はいつでもわたしたちのために心を空けておいてくださる方)

V 主イエスは今でも、いつも、いつまでも同じ、罪人の友です

主はかの時、人々に同情されただけではありません。彼は現在でも、今この時もわたしたちに同情されます。

彼が経験した事は、わたしたちが経験していることより千倍も激しかったのです。

わたしたちがどんな困難を持っていても、彼はわたしたちの感じることに、ご自身を結びつけて共にいてくださいます。

彼はわたしたちに恵み深く、彼はわたしたちを助けます。彼はわたしたちを平安に導きます。

(K 姉妹聖書朗読↓)

ですから、わたしたちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。(ヘブル人への手紙 4:16)

天にはわたしたちに同情する一人の方がいます。

わたしたちは大胆に彼に懇願する恵みの御座に来ることができます。
今日彼は天におられるだけでなく、わたしたちの内に入ることができる、命を与える霊です。
わたしたちは彼にとって、彼が愛するオンリーワンの者たちであるかのようです。
彼は愛します。彼はわたしたちに関することだけに關心があるのです。
彼はそのような主です。
彼はわたしたちの中に来て、わたしたちに同情し、またわたしたちの中で同情の心を与え、他の人たちに同情を示させ、互いに友のようにします。

F 兄弟の証し (主はわたしたちの中で主の同情を経験させてくださる方)
--

わたしたち人は強情かも知れません。
苦しい中で同情せず、同情されず、愛がなく、自分でせいいっぱいかも知れません。
そうして友が少なくなって来たかも知れません。
心温かい人でありたいと戦ったきたけれども、寂しかったかも知れません

彼に進み出ましょう。進み出て彼の名を呼びましょう。「主イエスよ！」
そして彼に来ていただきましょう。
そうすれば、主イエスはわたしたちの中に入り、彼の素晴らしい、わたしたちを慈しむ心を持ってわたしたちと共にいてくださいます。
彼は人の友になってくれる神だけではなく、実は人の友になりたい神なのです。
真の友は自然に、甘くその名を呼びます。
「主イエスよ」と呼びかけましょう。

さまようものつみからすくうのは？

ただイエスの愛のみ！

つみのみちからまもるものは？

ただイエスの愛のみ！

(復)イエスの愛のみおしせまる！

イエスの愛のみひとささえる！

つみびとをすくうものは、

ただイエスの愛のみ！

2 くるしみ取りのぞくものなにか？ 　　ただイエスの愛のみ！

なみだぬぐい去るものなにか？ 　　ただイエスの愛のみ！

3 きずついたころいやすものは？ 　　ただイエスの愛のみ！

しつ望したころ生かすのは？ 　　ただイエスの愛のみ！

4 むなしいじんせい満たすものは？ 　　ただイエスの愛のみ！

死のあじわい飲み尽くすのは？ 　　ただイエスの愛のみ！